

宝木だより

第 35 号

発行 宝木地区まちづくり協議会

(宝木地域コミュニティセンター内)

TEL・FAX 028-624-0531

南コースを散策 (散歩コース)

十一月十三日実施

昨年発行された、「宝木ぶらり」に紹介されている史跡・資源をもとに、南方面を廻るコースを散策してみました。

晴天に恵まれた晩秋の淡い日差しを浴びながら、各自治会から参加した五十数名の会員が「宝木ぶらり」を手に、思い思いに、秋の一日を楽しみました。

朝、九時に宝木地域コミュニティセンターに集合し、受付にて体温チェックを済ませて出発しました。



道程は、コミュニティセンターを出て、環状線沿いに南下し、大谷街道との交差点を大谷方面に向かい、「かましん」の北側の旧道を抜けて、「中丸公園」に辿り着きました。



この地域は昔、小高い野原であつたことから、農民は水に苦勞していましたが、一八五九年宝木用水が完成し、ようやくこの溜池を含め一帯を潤すようになりました。その後、すぐ北側にある高麗神社を参拝しました。

丘陵地帯で、日照りや水不足に悩まされ水神様のこの神社を信仰するようになったとのこと。その後、「とちぎ健康の森」に入り、紅葉を満喫した後、記念写真を撮って、コミュニティセンターに戻り散会しました。

今年二回目の 輪投げ大会

昨年の十月二十二日に、第十三回輪投げ大会が、宝木小体育館で開催されました。

左の写真にありますように、二



酸化炭素量を測定しながら、五十名を限度に大会が展開されました。

各自治会の選手も日頃の練習の成果を発揮させようと熱戦が繰り広げられました。

そして、その結果は、

優勝 二の三 三百六十一点

準優勝 東中丸 三百二十八点

三位 西中丸 三百十四点

さらに、個人優勝は、

西中丸自治会の 渡辺幸枝 様

百二十点でした。



「ぶらり宝木」の冊子作成し

全世帯に配布

宇都宮市の「魅力あるまちづくり推進事業」に応募し、採用されたものの中に、「ぶらり宝木」の冊子作成がありました。

この冊子は、地区の広報紙「宝木だより」の表紙に、平成二十七年から掲載したものを含め、さらに、広報紙に掲載していなかった史跡資源等も探求して二十八ヶ所にまとめたものです。

この冊子の大きさはA5版に当たる大きさで、持ち歩きながら、読むのに、適した大きさとなっています。

なお、今回の広報の一ページにも掲載しましたように、この冊子の中の数カ所を散策しても、楽しめる事と思います。





第六十回を迎えた市民スポーツ大会が、九月十八日～十一月六日の日曜日と九月二十四日の土曜日を含め、延べ八日間の日程で実施されました。

第六十回市民スポーツ大会 ソフトテニス 優勝

全十四種目実施されましたが、当宝木地区では、軟式野球、ソフトテニス、バレーボール(女子)、卓球、弓道、バドミントン、ソフトボール(壮年男子)、ソフトボール(実年男子)、サッカー及びゴルフの十種目に出場しました。

各地区共に、優秀な選手が出場し、熱戦が繰り広げられました。その結果、九地区百四十二名が参加したソフトテニスにおいては、当宝木地区が優勝する成果を上げました。

さらに、バレーボール女子及びバドミントンにおいては、それぞれ、三位の成績を上げました。

これらの好成績から、総合成績においても、第二位の成績を達成することができました。出場されたみなさん、ご苦勞様でした。



コロナ禍以前、「こぶしの会」のみなさまには、高齢者への食事会等に奉仕いただいておりました。しかし、昨今の状況から二十三名の方々が常日頃作成した雑巾を、宝木分署をはじめ、小学校、養護老人施設等に寄贈してきました。

今回は、各自治会に寄贈していただきました。ありがとうございました。

こぶしの会 奉仕活動

趣味の作品展 開催

(宝木小体育館)

昨年十一月十三日に、宝木小学校体育館に於いて、第一回趣味の作品展を開催いたしました。

開催するに当たっては、募集頂いた作品のボリュームを考慮しての各作品の展示位置、方法

等、密にならないような事前検討をし多方面の協力を得ながら実施いたしました。
応募いただいた作品を分類しますと、



- ・ 絵画 三十九点
- ・ 工芸 十七点
- ・ オブジェ 五点
- ・ 手芸 八十二点
- ・ 写真 二十点

計百六十三点の力作が出品されました。

当日は約二百名の方にご来場いただきました。

青パト実施者証更新 交通安全運転講習会

青色防犯パトロールも、宝木地区全域域に展開してから、三年が経過しました。なお、この車両の運転に必要な実施者証は、三年ごとに講習を受け、更新する必要があります。そこで、今年一月二十八日に、コンセーレにおいて対象者全員（五十七名）が警察署の講習を受講いたしました。



あとがき

さくらが咲く頃、今度こそ、皆様が従来の生活に戻れますようにご祈念申し上げます。

(5)